



日本英語交流連盟
The English-Speaking Union of Japan

2017年度 第20回記念 ESUJ 英語ディベート大会

【英国ディベート体験ツアー】報告書

賞品 提供：日本英語交流連盟 協賛：ANA ホールディングス株式会社

東京工業大学大学院修士2年 榎本直樹

皆様こんにちは、東京工業大学大学院修士2年の榎本直樹と申します。この度、幸運にも2017年度のESUJ大会で準優勝することができ、優勝者の方々が社会人であったためイギリスへの往復航空券をいただくことができました。チームメイトのNutthanun Thanomvajamunと共に現地時間の2月5日の午後にヒースロー空港に到着し、9日の夜に帰りの飛行機に乗りました。これは私にとって初めての渡欧となりました。

ロンドンについて翌日に、English-Speaking Union (ESU) に訪問しMelanie Aplinさんとお話しする機会をいただきました。そこでESUという団体についての説明を受け、また自分たちのディベート活動や進路に関することなどのお話をしました。公式訪問ということでやや緊張していましたが、Aplinさんは親しみやすい方で私の拙い英語にも真摯に耳を傾けてくださったのでリラックスしてお話しすることが出来ました。また恥ずかしながらこれまで詳しいことを知らなかったESUが100年の歴史を持ち世界中で様々な活動を行っているを知り、そうした団体の方とお話しする機会をいただけたことを誇りに思いました。

その後はバッキンガム宮殿、ビッグベン、大英博物館といった有名な観光地をまわりました。またロンドンに留学している友人の案内で有名なフィッシュアンドチップスのお店に連れて行ってもらったり、ESUJ大会で知り合ったイギリスのディベーターの方々とパブでお話しさせていただいたり充実した日々を過ごさせていただきました。

私は海外経験に乏しいので他の国がどうなのかよく知らないのですが、イギリスの人たちは日本に比べて初対面の人にもフランクに接している印象がありました。例えば



日本英語交流連盟

The English-Speaking Union of Japan

宿泊していたホテルでは、朝食の最中に従業員の方が「どこから来たの？」と話しかけてくださったので今回の渡英に関する話をしていました。また非常にリラックスしていて、勤務中でもスマートフォンをいじりながらホテルの客と一緒に朝食をとり、設備に関する質問など客からのヘルプがあったら対応する、といった感じでした。一般的に日本人がイメージする「丁寧な」接客とはまた違う気がしますが、これはこれでこちらでもリラックスして過ごせるのでいいな、と思いました。文化の違いなのでどちらがいい、といったものではないと思いますが、自分が思い込んでいる常識にとられないように外国の文化を理解する努力は必要だと感じました。また電車内で困っているときにも他の利用者の方が声をかけてくださったり、ホテルで他のお客さんと数学の話をしたりと接客以外にもコミュニケーションの感覚の違いを感じるが多かったです。

そして、よく言われることですがイギリスに行って最も印象に残ったのは街並みの美しさでした。有名な観光地のみならず地下鉄沿いの一般的な住宅街も昔ながらのレンガ造りで、神奈川の郊外で生まれ育った私にはとても新鮮でした。町を走る赤い二階建てバスも相まって独特な雰囲気を醸し出していました。今後仕事の関係でまたロンドンに来ることがあるかもしれませんが、もしそうした機会があったらまた観光の時間をもって町の雰囲気を味わいたいと思います。

最後に、今回このような機会をくださった **ESUJ** の皆様と、ご協賛いただいた **ANA** ホールディングス株式会社様に心から感謝申し上げます。時間のある学生生活最後の春休みに初めての地で見聞を広められる機会をいただけたことは本当に幸運だと思います。皆様本当にありがとうございました。